資料３

協働推進員制度に関するアンケート調査結果について（概要版）

令和８年８月１８日

高松市協働コミュニティ推進課

１．協働推進員制度について

所属担当協働推進員制度について

概　　要

：各所属１名ずつ
（課長補佐級の職員）

：４月～翌年３月

：①任命時ＷＥＢ研修
②ＷＥＢ研修

選任方法

：年度始めにインフォギャラリーで各課に推薦依頼（照会）

役　　割

：地域コミュニティ協議会、市民活動団体等からの協働の相談や提案に対する対応

：庁内での横断的な連携の推進

：指針等の職員への研修　等

地域コミュニティ協議会担当協働推進員制度について

概　　要

：各地域３名ずつ
（管理職員、係長級以下、地域協働部職員）※基本的にその地域に居住する職員

：６月～翌年５月

：①オープニング研修
（任命時、顔合わせ含む）
②ＷＥＢ研修

選任方法

：立候補
地域からの推薦
所属課から推薦
（地域協働部職員のみ）

居住者名簿
（危機管理課と合同で調査）
を基に個別交渉

役　　割

：地域コミュニティ協議会長から依頼のあった協働推進員業務に該当する会議に出席する

：担当地域に居住する職員に地域活動への参加の呼びかけを行う

：地域課題等に関する相談に対応する

２．協働推進員制度に関するアンケート調査（概要）

■ 調査の目的

協働推進員制度の在り方に関して、アンケートを取り、実情を把握するとともに、市と地域コミュニティ協議会の「協働推進員制度」に関する認識の違いがあるかを確認する

■ 調査内容

・制度の活用状況について
・庁内での連携の状況について
・今後の在り方について
・求められる地域担当協働推進員について

■ 調査期間

令和８年２月９日～２月２０日

■ 調査方法

Ｌｏｇｏフォーム

■ 調査対象・回答率

調査対象	配布数	回収数	回収率
地域コミュニティ協議会	44	37	84%
所属担当協働推進員	105	73	70%
地域担当協働推進員	132	97	74%

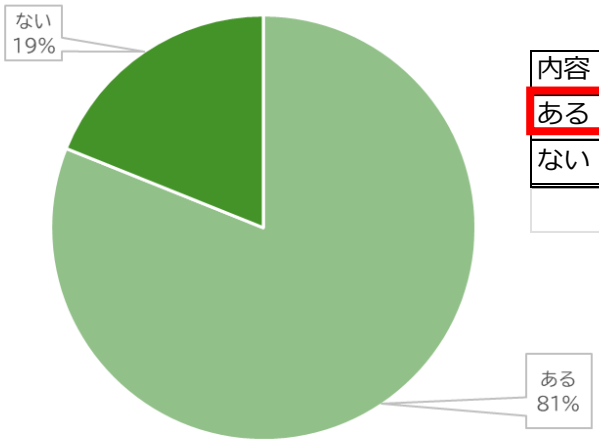
2．協働推進員制度に関するアンケート調査（調査項目）

	地域コミュニティ協議会	所属担当協働推進員	地域担当協働推進員
制度の活用状況について	・地域担当協働推進員制度の活用の有無 ・所属担当協働推進員制度の活用の有無と認知度	・地域コミュニティ協議会や市民活動団体からの提案の有無 ・所属担当協働推進員としての活動状況	・令和７年度出席依頼件数
求められる地域担当協働推進員	・地域担当協働推進員に期待する役割 ・理想とする地域担当協働推進員		・地域コミュニティ協議会の受け入れ態勢について ・地域から求められていると感じたこと

3．協働推進員制度の活用状況

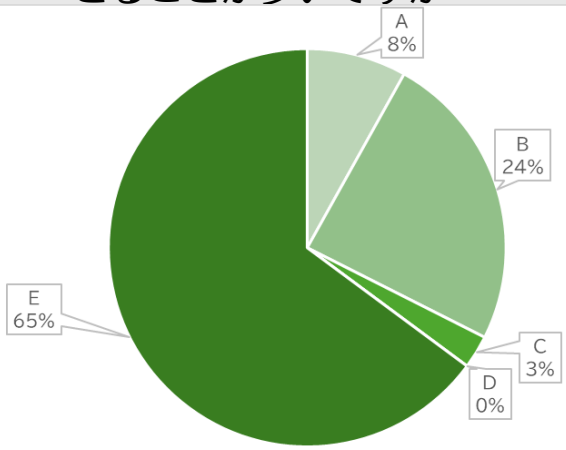
（地域コミュニティ協議会）

Q. 地域担当協働推進員制度を活用したことがありますか



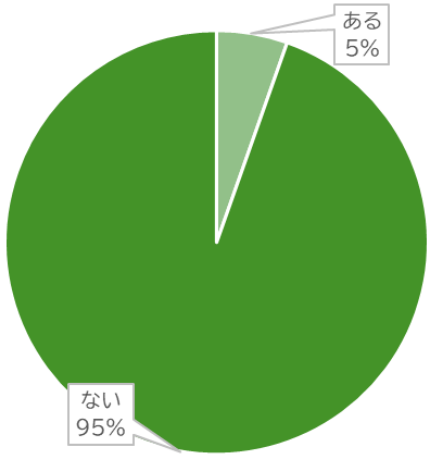
内容	回答数
ある	30
ない	7
	37

Q. 市に問い合わせたいことがある場合、どのような方法をとることが多いですか



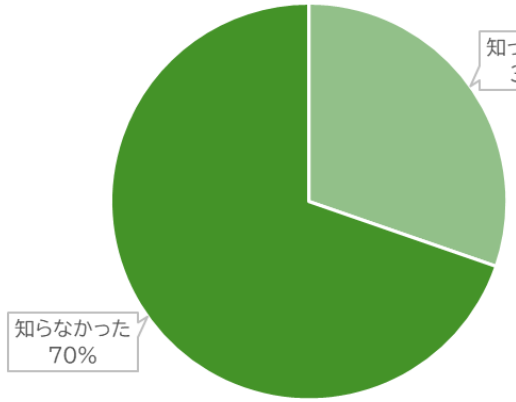
内容	回答数
A:協働推進員に連絡	3
B:協働コミュニティ推進課に連絡	9
C:総合センター・支所・出張所職員に連絡	1
D:所属担当協働推進員に連絡	0
E:該当する担当課の電話に出た職員に聞く	24
	37

Q. 所属担当協働推進員制度を活用したことがありますか



内容	回答数
ある	2
ない	35
	37

所属担当協働推進員制度について知っていましたか



内容	回答数
知っていた	10
知らなかった	23
	33

3．協働推進員制度の活用状況

（所属担当協働推進員）

Q．相談や事業を協働で行う提案を所属担当協働推進員として受けたことはありますか。

内容	回答数
ある	2
ない	71
	73

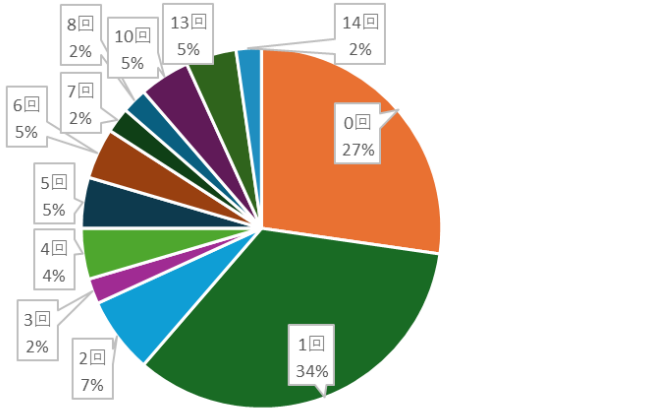
Q. 所属担当協働推進員の活動をしていて感じたことは？

内容	回答数
研修の参加以外、具体的な業務がない	57
現在の所属には協働で取り組める事業がない	16
「協働推進員」という枠がなくても、既に業務の中で自分や他の職員が対応している	26
業務の中で様々な事業を実施しているが、協働で事業をしているという認識はない	6
その他	2

（地域担当協働推進員）

Q. 令和７年度出席依頼件数

１回以上出席依頼をした地域は**32地域（73%）**あった。



出席依頼が多い会議

・コミュニティ協議会総会
・役員会
・各種実行委員会（夏祭り、文化祭など）
・地域福祉ネットワーク会議

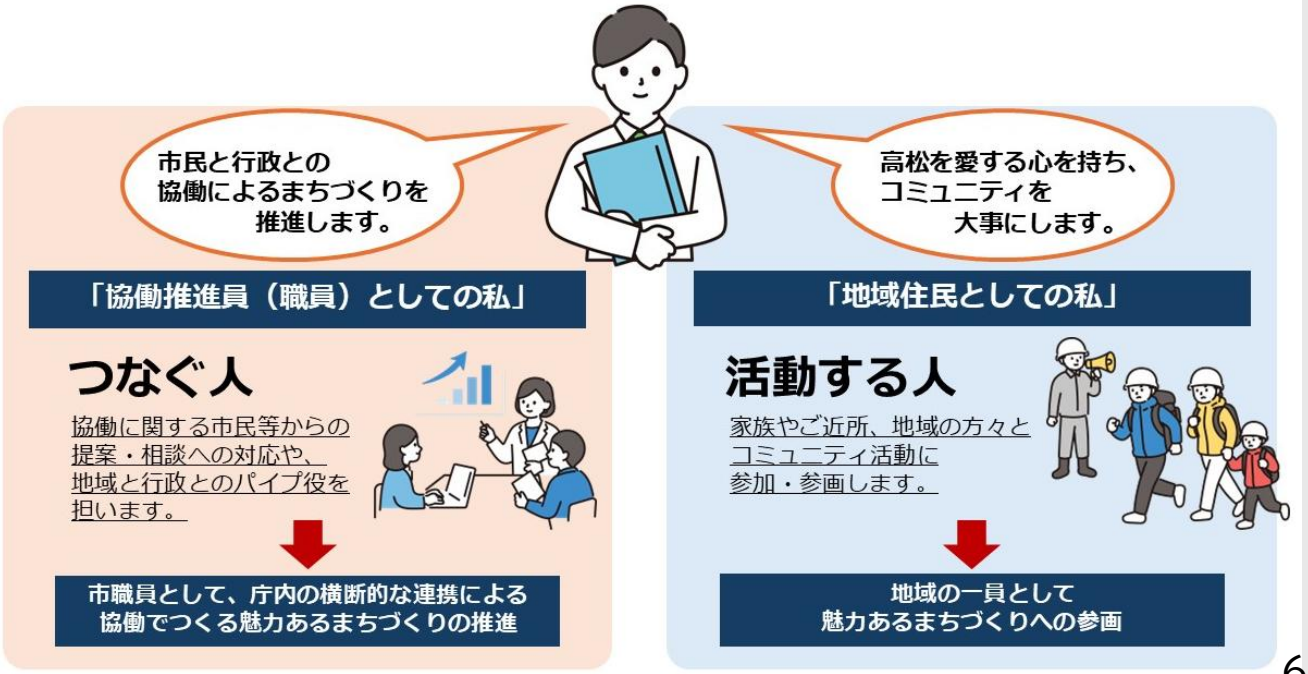
※令和７年度第２回地域担当協働推進員研修アンケート結果より

3．協働推進員制度の活用状況

・地域担当協働推進員制度は多くの協議会で活用されている一方、**所属担当協働推進員制度の活用は5%にとどまり、認知度も30%**と低い結果となった

・市への問合せの際は、該当する課に連絡をし、電話対応した職員に聞くことが多い（**所属担当協働推進員に連絡するケースはなかった**）

・相談等は管理職である所属担当協働推進員ではなく、電話や窓口で応対した職員が対応している



4．求められる地域担当協働推進員

（地域担当協働推進員）

Q.活動していく中で、協働推進員は地域からどんなことを求められていると感じましたか。

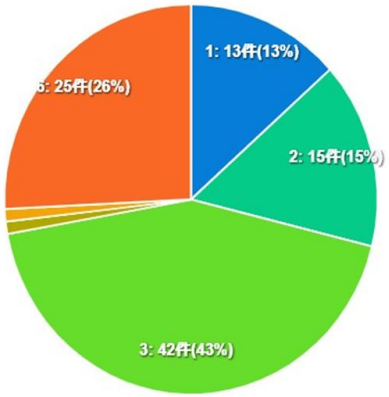
内容	回答数
地域行事に関心を持ってほしい	30
一般の参加者として地域行事に参加してほしい	11
イベントや行事の企画的な面での手助けをしてほしい	19
人手が足りないのでボランティアとしてイベントの運営に参加してほしい	40
コミ協として新たな取組を行っていきたいので、アドバイスがほしい	8
他地域での取り組みを紹介してほしい	4
地域は地域でやっているので、協働推進員が求められていると感じたことはない	17
分からない	16
その他	5

【地域担当協働推進員】

・**ボランティアとしてイベントの運営に参加してほしいと感じた**

⇒地域が求めているのは、**人手又は担い手である**と感じた

Q.これまで地域担当協働推進員として、地域からの依頼事項に対応した際（出席依頼のあった会に参加したときなど）、協議会側の対応や受け入れ態勢はどのように感じましたか。



●	地域の一員として、仲間のように受け入れてくれている	13
●	「市の職員」として、お客さんのように扱われている	15
●	特別扱いもなく、特に嫌な思いをしたこともない	42
●	少し気になる言動があり、居心地が悪かった	1
●	嫌な思いをしたことがある	1
●	依頼事項はなく、協働推進員として対応していない	25

4．求められる地域担当協働推進員

（地域コミュニティ協議会）

Q.地域コミュニティ協議会担当協働推進員にはどんな役割を期待しますか。

内容	回答数
地域行事に関心を持ってほしい	19
一般の参加者として地域行事に参加してほしい	7
イベントや行事の企画的な面での手助けをしてほしい	14
人手が足りないのでボランティアとしてイベントの運営に参加してほしい	11
コミ協として新たな取組を行っていきたいので、アドバイスがほしい	5
他地域での取り組みを紹介してほしい	4
現状では地域で何とかやっているので、特に協働推進員の手を借りたい事案はない	3
その他	3

・地域行事に関心を持ってほしい
・イベントや行事の**企画面での手助け**をしてほしい

⇒地域の行事やイベント等に関心をもって**積極的に参加できる**職員を望んでいる

Q.どんな職員が自分たちの地域の担当であれば理想的だと思いますか。

・イベントや地域課題等に対する企画提案ができる人
・地域の後継者となってくれる人
・デジタルに詳しい人
・防災に詳しい人

※共通：地域活動に興味を持ち、積極的に参加できる人

⇒協働推進員は地域の人手ではなく、地域と行政のパイプ役であることの周知が足りていない

5．協働推進員制度の更なる充実に向けて（研修の実施）

【協働コミュニティ推進課の役割】

・職員全体への研修による意識醸成（３キョウのまちづくり）
・地域課題に対する共有の場の創出（オープニングミーテイング等）
・地域コミュニティ協議会に対する研修
・協働推進員制度活用に関する事例紹介（インフォ・通信等）

【地域コミュニティ協議会】

①協働とは？必要性について

②協働推進員制度の活用

③市民活動団体等との連携

【地域担当協働推進員】

①協働とは？必要性について

②協働推進員制度について

③地域コミュニティ協議会の
現状について

④地域課題の共有

【市職員全体】

①協働とは？必要性について

②協働の進め方と事例

③地域課題の共有

5．協働推進員制度の更なる充実に向けて（研修の実施）

【令和８年度協働推進員向け研修実施内容】

【所属担当協働推進員対象】

①自席での研修
- 所属担当協働推進員の役割
- 所属担当協働推進員ガイド
- 高松市協働のまちづくり推進ガイド（事例集）

②LoGoフォームで理解度チェック
（確認テストの実施）

【研修実施後アンケートから】

- ポイントが良く分かったので、協働推進員に限らず、全庁的に確認テストを行っても良いのかなと思った
- 官の意識も高めつつ、民（NPO等）の意識も同時に高めることも必要な段階にあるかなと思う

【地域担当協働推進員・地域コミュニティ協議会職員等対象】

①講義（協働コミュニティ推進課）
- 協働とは
- 地域コミュニティ協議会について
- 協働推進員制度について
  協働推進員の役割と業務

②活動事例発表

③顔合わせ
（協働推進員と地域コミュニティ協議会職員）

市職員

- 地域課題が共有できて良かった
- 他地区の事例が聞けて参考になった

地域職員

- 定期的に開催してほしい